

2015年6月28日 「神様と真の御父母様を解放して差し上げましょう」

石川祐司教会長

今日は、刑部地区長のみ言の視聴と石川教会長の説教でした。

以下に訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『忠孝奉天』（劉 大行先生講演集）

神様と真のご父母様を解放してさしあげましょう

いちばん恐ろしい言葉

私は日本に来て、五か月になります。その間、多くの恩恵を受けてきたと同時に、感じることもたくさんありました。私が日本に来ていちばん強く実感したことは、「責任」ということです。「責任を果たせなかった」という言葉は、死ぬことよりももっと恐ろしい言葉であると感じました。

ある日、真のお父様が私に、日本が責任を果たせなかったことについて語られました。私は真のお父様に、「責任を果たすことができず申し訳ありませんでした」と申し上げたことがあります。

そのとき、真のお父様は「責任を果たせず申し訳ありませんで、神様のみ旨がなされるものではない」「申し訳ありませんでは通じない」と、おっしゃいました。私が続けて、「赦(ゆる)してください」と申し上げると、真のお父様は「赦(ゆる)すということは、赦(ゆる)してあげる人がいなければならない。その人が赦(ゆる)すときは、その赦(ゆる)してあげる人が代わりにその責任を負うようになる」と言われたのです。

私は、その言葉を聞いて胸が痛くなりました。なぜなら、自分が責任を果たさなければ、その責任を真のご父母様に負わせてしまう結果になるということが分かったからです。真のお父様に「赦(ゆる)してください」と言うことは、「お父様、責任を負ってください」ということになるのです。私はまた親不幸をしてしまったと思いました。

皆さんがこのようなみ言を直接聞いたとすれば、どのように感じるでしょうか？ 胸が締めつけられるような思いになることでしょうか。それは死んだと同じ状態です。

では、どのようにしなければならぬのでしょうか？ そのとき、悩んで心配するのではなく、責任を果たそうとする心が重要です。また、責任を果たすために努力しなければなりません。以前、真のお父様は次のように語られました。

「心配してはいけない。神様は心配することを最も嫌われる。心配する時間に精誠を尽くし、どのようにすればできるかを考えなければならない。悩んで心配して、物事が成されるのではない」真のお父様が言われるとおりで。心配して解決されるものではありません。心配する時間があれば祈り、神様から知恵を受けて、それに向かって進んでいくことによって解決の道が見えてくるのです。責任を果たすことは、簡単なことではありません。しかし、

難しいと思えば、力を失ってしまいます。ですから、責任を果たすことを喜びとして、取り組んでいくことが大切なのです。